

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターこがし								
指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団					法人番号	1100005001692		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	5695	地域活動支援センターこがし							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、事務室、トイレ								
施設設置目的	障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者である障害者、またその家族の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センター事業 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団			当該指定管理者の 指定回数	2 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成24年4月1日
指定 管理者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用者数		人/年	3,147	2,186	1,833	1,778	97%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 利用定員 15 人 登録人数(R4.3.31) 13 人 *利用者数(人/日 7.4人) 令和元年度以降の利用者数の減少は、東日本台風災害によるものにあわせ、利用者の高齢化により、介護施設の利用者になる等といった理由によるもの。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・創作活動 ・グループ活動(小人数での運動等グループワーク) ・レクリエーション活動 ・余暇活動							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・市包括支援センター支援専門員、歩楽里の相談支援専門員により、個々のケースについて日常的な支援方法を話し合っている(定期でなく必要に応じて機会を設けている)。 ・ホームページを事業団統一の様式に変更、内容の更新に努めた。 ・雨天や降雪時の送迎代行(常時対応ではなく、個々の必要性を見極めた上での対応)							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法 (2) 調査、会議等の内容 ・連絡帳を活用し、日々の要望や意見(考え・気持ち含む)を把握している。 ・満足度調査を実施したが、母数が小さい(9人)ため参考程度に留め利用者一人一人と面談して直接話を聞いた。 (3) 調査、会議等の結果 1.日中活動について (1)作業について:とても満足5人 まあ満足4人 どちらともいえない0人 不満0人 (2)文化的活動について:興味を持って取り組めた7~9人 興味が持てなかった0人 難しかった1人 分からない(不参加)1~2人 (3)お楽しみ会について:とても楽しかった4~5人 楽しかった3~5人 ふつう1~2人 つまらなかった0人 不参加1人 2.支援について (1)支援員の対応:とても満足5人 まあ満足4人 どちらとも言えない0人 不満0人 (2)支援員への質問・相談:できる3人 まあできる6人 どちらとも言えない0人 できない0人 説明の仕方:とても分かり易い1人 分かり易い7人 時々分かりにくい1人 分かりにくい0人 (3)連絡帳等での発信:とても良く分かる2人 良く分かる6人 あまり分からない0人 分からない0 未回答1人 3.こぶしの利用について 通いたい9人	4
	利用者からの評価・要望・苦情等		(1) 良好とする評価 1(1)今の仕事が気に入っている。(このまま続けられるようにお願いしたい) (2)楽しかったのでこれからも続けてほしい。・今のような活動で良い。 (3)お楽しみ会には積極的に参加したい(参加したくなる企画が多い) 2(1)親切に接してもらえて嬉しい・送迎してもらえて助かっている。 (3)詳しく書いてもらえるので様子が良く分かる。・今のまま続けてほしい。 3・こぶしが気に入っている。今の活動で満足している。・慣れているところだからいい。・仲間がいるからいい。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・コロナが収まったらいいからもっと外出したい。 <<対応措置>> 前年度の反省(相性の悪い利用者同士のトラブル対応)を活かして利用者一人一人の特性や体力に見合った活動を提供し、きめ細かい支援に努めた。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		歳入
	指定管理料	8,885,000	指定管理料	8,885,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		歳出
	販売収入等	380,000	販売収入等	342,196	貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入	22	その他		その他		
	計	9,265,000	計	9,227,218	計	0	計	0	
事業収支 (単位:円)	人件費	7,078,000	人件費	7,764,549	指定管理料	8,885,000	指定管理料	8,885,000	3
	設備管理費	37,000	設備管理費	36,630	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費		
	修繕費		修繕費		役務費		役務費		
	光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	549,000	事業費	319,626	修繕費		修繕費		
	事務経費	686,000	事務経費	425,650	工事請負費		工事請負費		
	本社経費	553,000	本社経費	393,000	備品購入費		備品購入費	72,600	
	その他	0	その他		その他		その他		
	工賃支払	362,000	工賃支払	342,196	電気料金	163,161	電気料金	100,266	
	計	9,265,000	計	9,281,651	計	9,048,161	計	9,057,866	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-54,433	差引	-9,048,161		-9,057,866	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								83.7%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			所長(非常勤)1人(1)、経理担当(非常勤)1人(0)、指導員(常勤)2人(2)・(非常勤)1人(1) ※指導員は、男性2名・女性1名 トイレ介助等の為、現在の3名体制を維持
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p>	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>・利用者の弁当は市内障害者就労施設、おやつや事務用品等の購入物品は市内業者にて調達</p> <p>(未実施) 地域の各種行事への参加は、新型コロナウイルス流行により行事そのものが中止されたため、できなかった。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>・複合施設に所在していることから、他方の施設(老人福祉センター)が新型コロナウイルス感染拡大防止の為に休止となったことにあわせ、施設利用上制限が大きくかかる状況下でも、利用者の思いや要望を丁寧に聞き取り、活動エリアや活動内容を工夫した結果、利用者からの高い満足度を維持している事から、3 利用者評価を「4」とした。</p>
------	--

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	<p>①新たな利用者の掘り起こし等、利用増に向けた取り組み</p> <p>②新型コロナウイルス感染拡大防止に対する取り組み</p>	<p>②パーテーション及び手指消毒用アルコール噴霧器の設置・毎日の作業室等の消毒等、徹底した感染予防の継続</p>	<p>①新型コロナウイルス流行により活動場所を制限された期間もあり、新たな利用者を募集することは取ってなかった。</p>

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<p>・利用者の高齢化が進み高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。</p> <p>・ふくしネットかつどう部会の地域活動支援センター連絡会の場で、利用者増加に向けた取り組みや、各センターでの課題等の共有にあたり、多くの障害福祉サービスを実施している法人が運営する施設として、これまでと同様、積極的に意見していただくことを期待する。</p>
--------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

調理活動やレクスポ等の老人福祉センター設備を活用した活動を実施したが、新型コロナウイルス流行によるかがやきひろば豊野休止に伴い、こぶし以外の設備を使用することが出来なくなった期間があった。そのような状況においても出来るだけ外に出たり、公民館を利用する等で運動量を確保、またこぶし内だけで出来る内容を工夫して活動を提供した結果、利用者から、高評価を得ることが出来た。

② 業務の効率化に対する取組み

・引き続き広報誌発行等の事務仕事は出来るだけ省いて、短時間勤務の職員を採用することにより、利用者支援に重点を置いた。

③ その他

・令和元年に作成した「洪水時の避難確保計画」を見直し、それに沿った防災訓練(避難訓練)を実施したところ、計画の避難場所では高齢化・重度化が進んでいる利用者にとって無理があったため、より利用者の実態に合わせた避難計画に修正した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・新型コロナウイルス流行により活動や活動場所に制限のかかる事態となり予定していた利用者増への取り組みが出来なかった。

(3) 総合評価 評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

前年度に続き新型コロナウイルスの流行による影響は大きかったが、創意工夫により当初の計画や目標を達成できた。

② 次年度以降の取組み

新型コロナウイルスの流行終息後も「新しい生活様式」に則った事業を展開していく。特に新規利用者の獲得に重点を置く。虐待防止が義務化されたことを踏まえ、法人や外部の研修に参加する等、職員の資質向上のための研修を計画的に実施する。